

胃の健康度を血液でチェック ABC検診

ABC検診とは…

胃粘膜萎縮(老化)マーカーのペプシノゲン検査と胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ抗体価検査を組み合わせ、胃の健康度をA、B、C、Dで分類するのが**ABC検診**です。胃の健康度に応じて内視鏡による精密検査を行うなど、効率的に検診を行う方法です。

ABCD分類		ヘリコバクター・ピロリ抗体価	
		(-)	(+)
ペプシノゲン	(-)	A群	B群
	(+)	D群	C群

ペプシノゲン検査

「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで胃粘膜の老化(萎縮)の状態を客観的に調べる検査です。

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼少期(4~5歳)頃までに感染すると考えられています。子供のころに感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だと言われています。

胃の病気のかかりやすさ

Aタイプ < Bタイプ < Cタイプ < Dタイプ

下のいずれかに当てはまる方は正しい結果が得られない場合があります。

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 上部消化器疾患治療中の方
- プロトンポンプ阻害剤(胃酸を抑える薬)服用中・服用終了後2ヶ月を経過していない方
- 胃切除の方
- 腎不全の方
- ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療を受けた方

これらに該当する方は医療機関にご確認、ご相談下さい。

ABC検診検査報告書

氏名	キクチ ヒロシ 様			カルテNo.		検診日	24/08/02
性別	男性	年齢	53才	診療科	職員	報告日	24/08/07
備考				その他情報		受付No.	3-39007

検査項目		検査結果	陽性判定基準	判定	ABCD分類
ヘリコバクター・ピロリ抗体		3.0 > U/mL	10.0以上	(-)	A
ペプシノゲン	ペプシノゲン I	47.8 ng/mL	ペプシノゲン I 70.0以下 かつ ペプシノゲン I/II比 3.0以下	(-)	
	ペプシノゲン II	5.6 ng/mL			
	ペプシノゲン I/II比	8.5			

ABC検診判定結果

* Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	Dタイプ
			
<p>健康的な胃粘膜です。</p> <p>胃の病気になる危険性は低いと考えられます。ただし、逆流性食道炎には注意しましょう。</p>	<p>少し弱った胃粘膜です。</p> <p>胃かいよう・十二指腸かいようなどに注意しましょう。</p>	<p>弱った胃粘膜です。</p> <p>胃癌などの病気になりやすいタイプです。内視鏡検査を受け、胃の病気の早期発見・早期治療に努めましょう。</p>	<p>かなり弱った胃粘膜です。</p> <p>胃癌などの病気になるリスクがあります。内視鏡による定期的な検査をお勧めします。</p>

実施医療機関

菊池内科

担当医師